



いづみ 泉 議員
ゆみ 愉美 議員

私の青春は卓球部。
みんなに平等な
環境づくりを

問 部活動の地域移行は進むのか

教育長 訓子府スタイルで検討する

部活動の選択肢

問 訓子府中学校では現在、体育系が5つ、文化系が1つの部活動がある。選択肢の少なさについて、どのように考えているか。

教育長 これまでも文化系は吹奏楽部のみである。生徒数が確保できない部活動を維持できないといけない。

問 文化系部活動を増やしてほしいという要望はないか。

教育長 学校への要望はないが、学校評価にはそのような声がある。

問 少子化で今後も生徒数の減少が予想されるが、部員が確保できない

い場合はどうなるか。

教育長 男女に分かれて練習できる競技もあるが、他校と合同チームで練習や試合参加することになっていく。

教員の働き方改革

問 訓子府でも部活動の指導による長時間労働の実態はあるか。

教育長 働き方アクションプランを作成し取り組んでいるが、部活動を担う教員は時間外労働が多くなっているのが現状と認識している。

部活動の地域移行

問 令和5年から3年をかけて、まずは休日の部活動を地域に移行するという提言が示されるという提言が示され、推進計画の策定が求められているが、町でも計画策定を進めるのか。

教育長 道教委で計画作成中であり、検討課題が示されてから、来年度以降に本町でも進め

ることになる。

プロジェクト委員会

問 計画策定の検討はどのように行うのか。

教育長 プロジェクト委員会を立ち上げる予定で現在準備中である。

地域移行の課題

問 町では受け皿としてどのような団体や指導者が考えられるか。

教育長 教員が別の立場で兼業兼職する可能性もあると思う。

問 これまでは無料で指導してもらっていた部活動だが、指導料や保険料、施設使用料などの費用負担が保護者にかかっているか。

国や道、町からの支援はあるのか。

教育長 国はモデル事業を通して政策として検討している段階である。町ではプロジェクト委員会を検討していくことになるだろう。

問 校外での活動になると管理、責任の所在はどうなるか。

教育長 今の体制を継承しながら、課題を整理し進めていく。

今後の部活動の姿

問 地域事情に応じた持続可能な仕組みづくりが必要と思うが、今後の総体的な方向性は。

教育長 部活動は学校教育の中で大きな役割を担っている。

専門性を持ち指導できる教員が減り、近い将来には学校単位で活動できなくなるのが見えており、地域移行も必要と思う。

訓子府スタイルの部活動の在り方を今後も検討していく。



泉議員の一般質問を視聴できます